

KWF 講演会が開催されました！

7月27日鹿児島大学において、熊本県林業研究指導所林産加工部長 池田氏による「信頼性の高いスギ構造材の供給にむけて」という講演会がありました。

「信頼性の高い構造材」とは、柱材では寸法安定を付与する乾燥度、横架材では乾燥に加え、たわみを担保する強度性能を明確化した構造材であるとして、その供給体制を検討している。

乾燥性については、赤芯・黒芯などの区別や、強度についてはヤング率の測定等を行い、従来の丸太径や細り、曲がりなどと共に仕分けることで用途分けすることが、低コスト化の要因になるということでした。

ちなみに試験的にE70以上とE70以下に分類し販売したところ、同等の大きさの材で570~2,120円/m³の価格差が出たそうです。また丸太でのヤング測定が製材後まで有効かと質問したところ製材後生材の状態ではヤングは下がるが、乾燥すると同等以上になるので、丸太での測定は有効と考えるということでした。

乾燥方法として現在高温乾燥が主流となっており、内部割れや色艶そして不良率を考えると低コスト生産の為には、初期にドライグセットした後に独自の栈木を使い、材がちどりになるように栈積みし、簡易乾燥装置で乾燥することが有効であるとのことでした。

また熊本県産スギのスパン表を作り、設計士、住宅関係者、材料納入者への普及に努めているということですが、6月20日の改正建築基準法における構造計算にはこのスパン表は使用できず、4号建物にのみ有効ということでした。

最後に、同じヤング率のスギと米松を比較した場合、粘りのあるスギの方が構造材としては優位であるという嬉しい話もありました。

改正建築基準法が施工されて1ヶ月！

鹿児島県においてはあまり混乱は聞かないが、提出を控えている所が多いようです。4号建物については従来と変わらないとはいえ、様子見の状況です。提出書類の確認や、記入漏れのチェックなど従来は訂正や差替えで済ませたことが再申請となる為慎重になっているのでしょうか？

一方、瑕疵担保責任履行確保法については平成21年秋頃から施行される予定で、保険加入か、新築住宅引渡し戸数に応じた保証金の供託が必要です。ただ、故意や重過失は保険の対象にならない為、新たに救済基金を創設し、引渡しごとに売り主が拠出金を支払うことになるようです。いずれにしても確認申請から着工までは時間がかかりそうですし、売買契約も難しくなります。意識の改革が必要になります。

【情報】

「リーダーの条件」デモ・セミナーがあります！

日時 平成19年8月17日(金)PM7:00~9:00

場所 サンロイヤルホテル (電話 253-2020)

参加費 無料

申込先 (社)鹿児島法人会 (電話 239-3655)

【定休日】

8月は4, 5, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 19, 26日となります

9月は1, 2, 8, 9, 15, 16, 23, 30日となります

ご協力をお願いします。

(お問い合わせは、お客様サービス係の東野まで)

